

第2回 白ゆりスポーツフェスタに参加して

春日井市母子寡婦福祉会 会長 安藤京子



11月28日(土)名古屋市東スポーツセンターでコロナウイルス感染拡大防止に充分配慮し、検温、手指消毒、換気、ソーシャルディスタンスを保って第2回白ゆりスポーツフェスタが開催されました。中條理事長の挨拶に始まり、役者とMCで活躍されている佐野俊輔様と市川智也様が精神統一『子どもたちと天下統一』と題してお話がありました。続いて、ガールズユニットのハニートラップメンバーと一緒に、簡単なダンスをしました。小さいお子様、お母様や寡婦も、普段はあまり使わない全身を使って踊ることで、とてもすっ

きりした気分になりました。

また、協賛された整体・リラクゼーションTAISEIKAN様に、寡婦の参加者ほとんどが『ほぐし体験』をさせて頂きました。体験後皆『気持ちよかった』との声が聞かれました。

コロナ禍の中の開催でしたが、会場は広く心配していた密もなく、とても楽しく心も身体も癒されました。帰りには、お弁当・お土産のプレゼントも頂きました。

第3回開催時には、コロナウイルス感染も収束し、多くのひとり親家庭の方々が参加されることを願っています。



コロナ禍で更に辛い思いをしているひとり親家庭に『スマイルBOX』
(3,487世帯/年)



新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の災禍は、平常時から経済面、生活面で大変なひとり親の不安定な就労が雇用や収入の確保に直接的な打撃を与え、臨時一斉休校が家計や栄養摂取を脅かしました。当母子・父子福祉センターにも、「失業した」「勤め先のお店が閉鎖した」「収入が減った」「食べる物に困っている」「お金がない」などの相談がとても多く入るようになりました。

そこで、当法人の社会貢献として、コロナ禍が深刻化しつつあった昨年の4月より、「スマイルBOX」の宅配を始めました。「スマイルBOX」は、段ボールに、お米や食料品、日用品、衛生用品などを詰め合わせた、支援BOXで、届いた箱を開けた時に、少しでも笑顔になって貰えたらとの願いを込めて名付けました。

送料だけでも多額になり、法人独自予算でどこまで支援が継続できるか不安でしたが、温かいご厚意の寄附金の御寄贈、お米、食料品、日用品、衛生用品の御寄贈により、1年間で3,487世帯の辛い思いをしているひとり親家庭に「スマイルBOX」をお届けすることが叶いました。そして、現在も継続できています。また、イエローエンジェル様、名古屋南ロータリークラブ様、名古屋樟ライオンズクラブ様、スマイルピースコンサート実行委員会様のご厚意のQUOカード御寄贈により、スペシャルな「スマイルBOX」企画も実施できました。多くの善意ある方々の温かいご厚意に深く感謝しております。「スマイルBOX」を受け取った家庭の喜びと笑顔の写真も一部紹介させていただきます。

